

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
くろーばーとみおか		令和 8年 1月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		定員10名で基準のスペースを確保しています。	定員は超えないように遵守しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		配置基準以上の職員を配置しています。	行事や外出等の際は必要に応じて人数を増やして対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		マットによる色分けや学習コーナーの空間を2席作ってあります。また安全面では玄関にドアカバーや手すりを追加設置しました。	年齢特性に合わせた環境整備を行っています。長座テーブル3つ追加しました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日送迎後とサービス開始前の時間を使って清掃や消毒、換気等を行っています。	行事によってテーブルの位置を変更したりして空間調整をしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		別部屋はありませんが学習に集中できるようにコーナーを2席作ってあります。調理実習の時はキッチンを使う時もあります。	必要に応じて環境整備していきたいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日サービス開始前に申し送りや話し合い、帰りに、状況報告をするようにしています。	申し送りの中で様々な意見を取り入れながら業務改善に努めていきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケート結果を職員間で周知しました。	職員全員で内容を把握し、業務改善につなげていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の申し送りの時間の際に話し合いの時間を設けています。	職員の意見を取り入れながら業務改善に努めていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	外部評価はしていませんが、苦情窓口については第三者委員会を設置しています。	外部評価は受けていません。重要事項説明書内にも記載されています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		施設内研修や県の研修に参加する機会を増やしています。またZOOM等によるセミナー参加やオンライン研修の受講も増やしています。	研修参加の機会を増やし知識技術向上につとめていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児童の特性やニーズに応じて支援グッズなどを個々に作成したり、活動しています。	ご家族に支援内要を説明したり公表していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的に見直しを行い、保護者の意見を取り入れて作成しています。	ニーズ、課題、評価を保護者と共有しながら計画を作成していきます。また学校の先生や同居のご家族からの情報も反映させていければと思っています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員から話を聞きながら一緒に考え検討しています。	今後も職員全員で検討していきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		申し送り前にその日の担当が確認し支援を行っています。	申し送りの時間に職員間で共有していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		HUGのアセスメントツールを使って確認、入力しています。	アセスメントツールを用いて、状態の把握をおこなっていきます
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を踏まえて支援内容を設定しています。	放課後等デイサービスガイドラインを確認しながら設定していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		専門職と常勤職員で立案、職員全員で検討しています。	今後も職員全員で検討していきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		課題は達成と共に難易度を変化させ取り組めるようにしています。職員間で情報や様子を共有してすすめています。	季節行事・制作、調理実習、外出行事等、様々な活動を提供し体験の機会を作っていきます。

保護者	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		保護者の意向と児童の現状を踏まえ支援計画を作成しています。	個別支援計画に沿った課題に向き合っていきます。集団の中であっても、その課題に結び付くよう関連付けて支援していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前に申し送り（打合せ）を行い、担当、送迎、役割等を確認し支援を行っています。	特記事項や支援内容の変更等は数日繰り返し申し送りをし周知徹底に努めます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了（送迎後）に報告をしています。記録や翌日の申し送りの際に反映させています。	家族に伝えるべき事項や児童の変化があるときは帰りの送迎時の出発前までに伝えられるよう情報を共有していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日記録を取っています。記録の際は前日の記録が見れるので変化があるときなどは検証したり改善につなげています。	記録をもとに支援の振り返りに活かしていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6カ月に1回、見直しを行っています。	6カ月ごとモニタリングを行い、計画の見直しをおこなっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインを参考にしています。	4つの基本活動が複数組み合わせた支援に取り組んでいます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		課題等は複数から自己選択できるようにしています。	おやつや準備や活動の選択なども自己決定できる環境に紐づけていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。	勤務上可能であれば児発管以外も参加していければと思っています。当事業で開催される場合は常勤職員も話し合いに参加しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	可能な限り対応していきます。	学校との連携が主ですが、必要に応じて連携していきます。ご家族に提案し主治医との連携を打診中の事例はあります
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校のホームページやご家族から年間行事を確認。送迎時に担任の先生と情報共有しています。	学校や担当職員との良好な関係性の構築や送迎時間のまちがい防止に努めます。急な変更の案件は直接電話で確認していきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	可能な限り対応していきます。令和7年度は令和8年利用開始のお子さんの情報共有は令和8年3月に調整されています	未就学のお子さんには情報共有の機会を設け、支援計画作成等に活かしていきます。本年はこども園、児童発達支援事業所の方から情報共有する機会がありました。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		可能な限り対応していきます。卒業前の移行支援会議で情報提供をさせていただきます	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は情報を提供していきたいと思います
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	センター等の専門機関とやりとりは今のところありません。	必要に応じ行っていきたいと思います
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	過去よりアンケート以外で保護者の方から希望しない等の意見が複数ありました。	ご兄弟間の事情などもあり、慎重に検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		協議会に参加しています。	日程調整して参加していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノート以外に送迎時には直接ご家族にお伝えするようにしています。	引き続き送迎の際にはお伝えしていきます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	支援で感じた反応等をお伝えし、やり方やポイント等必要に応じてお伝えしています。	事業者での支援報告は常に行っている。保護者の方に負担をかけすぎぬよう要望があったときは対応しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時説明しご理解いただいた上で署名捺印をいただいています。	引き続き説明していきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		ご家族の聞き取りを行っています。ご本人からの聞き取りが難しいときは、日常の様子から推測したり、ご家族の要望として反映し確認しています。	今後も意向を確認していきます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画を説明し同意をいただいています。	今後も説明し同意をいただきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		直接や電話等でご相談があったときに助言等させていただいています。改善や手助けできるような支援を常に考え取り組んでいます。	学校の引継ぎや連絡帳の記載等で気になる事があれば確認や様子をお聞きしています。会話しやすい環境を引き続き整えていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	過去よりアンケート以外で、学校の保護者会もあるのですが、希望しない等の意見が複数ありました。	お仕事の兼ね合い、家族、兄弟間の都合上時間を割くことを考えるのが負担になっている意見が多い、あっても参加できない等、保護者の負担が増えるため、特別な会は設けてはいません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情の有無に関わらず、気になる点はその日のうちに家族と連絡を取り対応しています。	ご家族からの相談やお話をいただいた時には苦情担当者に報告、相談し、話し合い、苦情解決担当者より直接連絡をいたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		楽しみにされているご家族が多くありがたいです。毎月のお便りと行事の様子はホームページのブログ等で発信しています。	引き続き掲示していく。ホームページの活動の様子は早め更新していけるよう努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報使用同意書に同意をいただいています。守秘義務に従っています。	担当者会議等の話し合う場では、再度確認許可をいただくようにしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		書面を見ながら説明し同意をいただいています。	説明で同意を頂いたり、お便りでお知らせする以外に、直近で必要なことについては送迎時や電話などで再度お伝えしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	招待はないがご近所の方々と交流をとっている。自治会にも属しています。	招待するほどのスペースの確保は難しい。個人情報の配慮もあります。近隣の方との交流は多いと思います。農業の収穫後などはご近所におすそ分けしたり、いただいたりの関係にあります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		職員へのマニュアルの周知はおこなっています。保護者の方々は重要事項説明の際にお伝えしています。	随時、内容の見直しをおこない、周知徹底できるようにしていきます。訓練後には連絡ノートにて保護者に知らせています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPは策定しています。避難訓練は3カ月に1度程度で行っています。	引き続き訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬等が必要な場合が与薬依頼書を提出してもらっています。	契約時に服薬やてんかん発作があるかの確認を引き続き行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギー調査で対象児童がいない。学校からの申し送りには注意深く対応しています。	契約時にアレルギー調査を引き続き行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を策定しています。	安全計画をもとに避難訓練や点検、研修などを行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		避難訓練等実施は当日の連絡ノートでお伝えしています。	ホームページやお便りでお知らせしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		申し送り内で伝え、再発の無いようにしています。	全員で再確認し、繰り返しを防ぎ、改善に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会があり、研修を行っています。	定期的な研修に参加し、研修報告をして周知に努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束適正化委員会があり研修を行っています。	組織的に決定した内容を説明し了解を得て、計画に記載していきます。